



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月24日
上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
 コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 数原 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 2019年11月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	46,350	2.4	6,312	△2.1	6,506	△3.3	4,327	△0.9
2018年12月期第3四半期	45,262	△7.9	6,447	△24.3	6,725	△23.8	4,365	△30.0

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 3,559百万円 (17.8%) 2018年12月期第3四半期 3,022百万円 (△58.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	75.77	—
2018年12月期第3四半期	75.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	116,247	90,331	76.4	1,559.32
2018年12月期	116,882	89,151	74.9	1,530.20

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 88,770百万円 2018年12月期 87,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	14.00	—	15.00	29.00
2019年12月期	—	15.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	0.8	8,500	△4.8	9,000	△3.1	5,500	△4.8	96.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期3Q	64,286,292株	2018年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	7,357,392株	2018年12月期	7,037,452株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期3Q	57,115,098株	2018年12月期3Q	57,655,037株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年9月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向は持続し、個人消費は底堅く推移したものの、米中間の貿易摩擦を巡る海外経済情勢への不安感の高まりや日韓関係の悪化による影響が懸念され、先行きへの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、価値観やライフスタイルの多様化およびデジタル技術の飛躍的な進展のなかで、お客様が筆記具に求める価値は刻々と変化し、そういった多様な価値観に対応した新たな発想に基づく商品開発が不可欠となっております。また、インターネットの普及は、お店で実物を手に取り、筆記感を試して商品を購入するという購買方法に加えて、場所や時間に縛られることなく商品を購入するという選択肢をもたらし、またその利便性はますます高まり、変わりゆく市場環境に迅速に対応していくことが引き続き求められております。

このような経営環境の中、当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、高付加価値で高品質な商品の開発に取り組んでまいりました。お子様が正しく鉛筆を持つことができるようサポートするために、持ち方の練習がしやすく、転がりにくい六角軸の「ユニ学習・丸付け用 赤えんぴつ・青えんぴつ・赤青えんぴつ」を発売いたしました。また、消しゴムで消せるカラーシャープ「uni Color（ユニカラー）」や、芯が回ってトガリ続けるシャープ「クルトガ」、クセになる、なめらかな書き味の油性ボールペン「ジェットストリーム」といった製品において限定デザイン等を展開し、日常的な筆記シーンを自分らしく創りあげる選択肢としての商品拡充を図ってまいりました。さらに、近年、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、企業の環境問題への配慮や対応が求められるなか、紙・プラスチックの代替材料として注目される石灰石から生まれた新素材「LIMEX（ライメックス）」を世界で初めてペンの軸材として実用化した「uni（ユニ） LIMEX（ライメックス）」を発売しました。このように、「かく（書く／描く）」ことを通じてお客様の生活を豊かにし、さらにそういった日常をこれからも積み重ねていくことができるような商品の拡充に努めてまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は463億50百万円（前年同期比2.4%増）となりました。また営業利益は63億12百万円（前年同期比2.1%減）、経常利益は65億6百万円（前年同期比3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億27百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、ジェットストリーム等をはじめとするボールペンやサインペンが好調に推移したことにより、外部顧客への売上高は445億57百万円（前年同期比2.5%増）となりました。また、その他の事業は、粘着テープ事業及び手工芸品事業を取り巻く環境は厳しい状況により、外部顧客への売上高は17億93百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が増加したものの、主として受取手形及び売掛金とたな卸資産が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて6億35百万円減少し1,162億47百万円となりました。

負債は、主として支払手形及び買掛金と長期借入金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて18億14百万円減少し259億15百万円となりました。

純資産は、自己株式の増加や為替換算調整勘定が減少したものの、主として利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末に比べて11億79百万円増加し903億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,393	45,641
受取手形及び売掛金	18,090	14,441
たな卸資産	16,747	15,985
その他	2,709	2,788
貸倒引当金	△828	△869
流動資産合計	79,111	77,987
固定資産		
有形固定資産	21,411	21,639
無形固定資産	1,104	1,487
投資その他の資産		
投資有価証券	13,773	13,627
その他	1,480	1,504
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,254	15,131
固定資産合計	37,770	38,259
資産合計	116,882	116,247

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,451	7,435
短期借入金	1,765	1,527
未払法人税等	849	645
賞与引当金	501	1,146
返品引当金	52	47
その他	5,195	4,854
流動負債合計	16,817	15,656
固定負債		
長期借入金	5,461	4,919
退職給付に係る負債	3,812	3,914
役員退職慰労引当金	103	99
その他	1,536	1,325
固定負債合計	10,913	10,259
負債合計	27,730	25,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	78,986	81,609
自己株式	△4,794	△5,406
株主資本合計	82,411	84,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,485	4,371
為替換算調整勘定	863	144
退職給付に係る調整累計額	△158	△166
その他の包括利益累計額合計	5,191	4,348
非支配株主持分	1,549	1,560
純資産合計	89,151	90,331
負債純資産合計	116,882	116,247

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	45,262	46,350
売上原価	21,943	22,832
売上総利益	23,318	23,518
販売費及び一般管理費	16,871	17,206
営業利益	6,447	6,312
営業外収益		
受取利息	16	16
受取配当金	174	206
受取地代家賃	62	54
受取保険金	39	29
為替差益	103	—
その他	51	33
営業外収益合計	448	340
営業外費用		
支払利息	32	29
為替差損	—	28
シンジケートローン手数料	39	28
売上割引	41	42
その他	57	17
営業外費用合計	170	145
経常利益	6,725	6,506
特別利益		
固定資産売却益	38	10
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	38	16
特別損失		
固定資産除売却損	29	4
投資有価証券売却損	—	50
工場再編損失	96	193
環境対策引当金繰入額	28	—
本社移転費用	376	—
特別損失合計	530	248
税金等調整前四半期純利益	6,233	6,274
法人税等	1,667	1,790
四半期純利益	4,565	4,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	200	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,365	4,327

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	4,565	4,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,328	△114
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△285	△801
退職給付に係る調整額	72	△8
その他の包括利益合計	△1,542	△923
四半期包括利益	3,022	3,559
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,855	3,485
非支配株主に係る四半期包括利益	167	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、uni Mitsubishi Pencil North America, Inc.、uni-ball Corporationを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年1月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	43,456	1,806	45,262	—	45,262
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	18	30	△30	—
計	43,467	1,824	45,292	△30	45,262
セグメント利益	6,374	55	6,429	17	6,447

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	44,557	1,793	46,350	—	46,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	20	29	△29	—
計	44,566	1,813	46,380	△29	46,350
セグメント利益	6,249	48	6,298	13	6,312

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。